

# 筑波大学 平成 25 年度 個別学力試験問題

## 前期 数 学 (120 分)

- 社会・国際学群 (社会学類, 国際総合学類)  
 人間学群 (教育学類, 心理学類, 障害科学類)  
 生命環境学群 (生物学類, 生物資源学類, 地球学類)  
 理工学群 (数学類, 物理学類, 化学類, 応用理工学類, 工学システム学類, 社会工学類)  
 情報学群 (情報科学類, 情報メディア創成学類, 知識情報・図書館学類)  
 医学群 (医学類, 医療科学類)

### 注 意

- 1 問題冊子は1ページから6ページまでである。
- 2 受験者は, 志望する学類の解答すべき問題を下表で確認のうえ, 解答しなさい。選択問題も含まれているので十分注意すること。  
 ※ ○印のついた問題は必ず解答し, △印もしくは□印のついた問題については選択解答すること。それ以外の問題を解答してはならない。
- 3 解答用紙は問題に対応するものを使用すること。
- 4 国際総合学類においては, 「数学Ⅱ・数学B」または「数学Ⅲ・数学C」の問題のいずれかを選択解答すること。
- 5 教育学類および障害科学類においては, 「数学Ⅱ・数学B」, 「数学Ⅲ」または「数学C」の問題のいずれかを選択解答すること。

学 類	解答すべき問題						備 考
	数学Ⅱ	数学Ⅲ		数学B	数学C		
	1	2	3	4	5	6	
社会学類	○			○			○印の問題2問を解答すること。
国際総合学類	[数学Ⅱ・数学B]選択者	○			○		○印の問題2問を解答すること。
	[数学Ⅲ・数学C]選択者		△	△		□ □	△印の中から1問, □印の中から1問を選択解答。計2問を解答すること。
教育学類	[数学Ⅱ・数学B]選択者	○			○		○印の問題2問を解答すること。
	[数学Ⅲ]選択者		○	○			○印の問題2問を解答すること。
障害科学類					○	○	○印の問題2問を解答すること。
心理学類	○	△	△	○	△	△	○印の問題は必ず解答。△印の中から2問を選択解答。計4問を解答すること。
生物学類	○	○	○	△	△	△	○印の問題は必ず解答。△印の中から2問を選択解答。計5問を解答すること。
生物資源学類	○	○	○	△	△	△	○印の問題は必ず解答。△印の中から2問を選択解答。計5問を解答すること。
地球学類	△	○	○	△	○	○	○印の問題は必ず解答。△印の中から1問を選択解答。計5問を解答すること。
数学類	△	○	○	△	○	○	○印の問題は必ず解答。△印の中から1問を選択解答。計5問を解答すること。
物理学類	△	○	○	△	○	○	○印の問題は必ず解答。△印の中から1問を選択解答。計5問を解答すること。
化学類	△	○	○	△	○	○	○印の問題は必ず解答。△印の中から1問を選択解答。計5問を解答すること。
応用理工学類	△	○	○	△	△	△	○印の問題は必ず解答。△印の中から3問を選択解答。計5問を解答すること。
工学システム学類	△	○	○	△	△	△	○印の問題は必ず解答。△印の中から3問を選択解答。計5問を解答すること。
社会工学類	△	○	○	△	□	□	○印の問題は必ず解答。△印の中から1問, □印の中から1問を選択解答。計4問を解答すること。
情報科学類	△	○	○	△	○	○	○印の問題は必ず解答。△印の中から1問を選択解答。計5問を解答すること。
情報メディア創成学類	△	○	○	△	○	○	○印の問題は必ず解答。△印の中から1問を選択解答。計5問を解答すること。
知識情報・図書館学類	△	△	△	□	□	□	△印の中から1問, □印の中から1問を選択解答。計2問を解答すること。
医学類	○	○	○	△	△	△	○印の問題は必ず解答。△印の中から2問を選択解答。計5問を解答すること。
医療科学類	○	○	○	△	△	△	○印の問題は必ず解答。△印の中から2問を選択解答。計5問を解答すること。

[ 1 ]  $f(x)$ ,  $g(t)$ を

$$f(x) = x^3 - x^2 - 2x + 1$$

$$g(t) = \cos 3t - \cos 2t + \cos t$$

とおく。

(1)  $2g(t) - 1 = f(2\cos t)$ が成り立つことを示せ。

(2)  $\theta = \frac{\pi}{7}$ のとき,  $2g(\theta)\cos\theta = 1 + \cos\theta - 2g(\theta)$ が成り立つことを示せ。

(3)  $2\cos\frac{\pi}{7}$ は3次方程式  $f(x) = 0$ の解であることを示せ。

[2]  $n$  は自然数とする。

(1)  $1 \leq k \leq n$  を満たす自然数  $k$  に対して

$$\int_{\frac{k-1}{2n}\pi}^{\frac{k}{2n}\pi} \sin 2nt \cos t \, dt = (-1)^{k+1} \frac{2n}{4n^2-1} \left( \cos \frac{k}{2n}\pi + \cos \frac{k-1}{2n}\pi \right)$$

が成り立つことを示せ。

(2) 媒介変数  $t$  によって

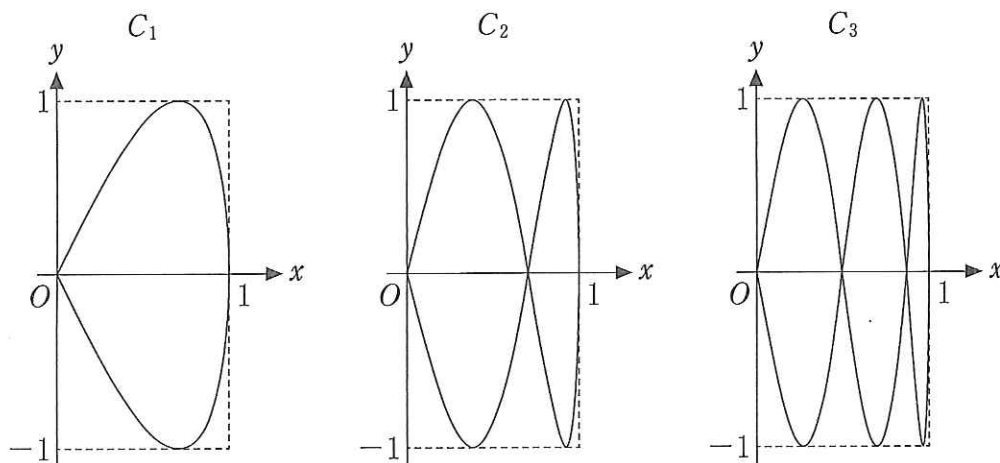
$$x = \sin t, \quad y = \sin 2nt \quad (0 \leq t \leq \pi)$$

と表される曲線  $C_n$  で囲まれた部分の面積  $S_n$  を求めよ。ただし必要なら

$$\sum_{k=1}^{n-1} \cos \frac{k}{2n}\pi = \frac{1}{2} \left( \frac{1}{\tan \frac{\pi}{4n}} - 1 \right) \quad (n \geq 2)$$

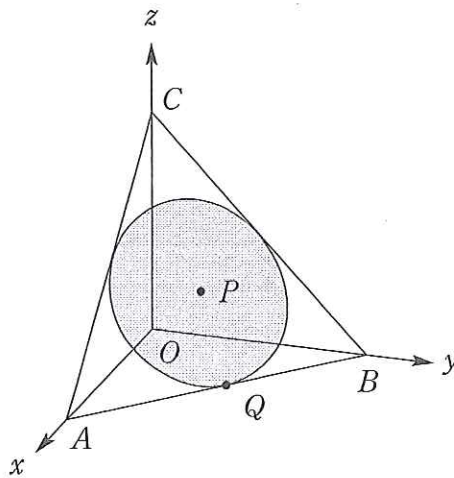
を用いてよい。

(3) 極限值  $\lim_{n \rightarrow \infty} S_n$  を求めよ。



[ 3 ]  $xyz$  空間において, 点  $A(1, 0, 0)$ ,  $B(0, 1, 0)$ ,  $C(0, 0, 1)$  を通る平面上にあり, 正三角形  $ABC$  に内接する円板を  $D$  とする。円板  $D$  の中心を  $P$ , 円板  $D$  と辺  $AB$  の接点を  $Q$  とする。

- (1) 点  $P$  と点  $Q$  の座標を求めよ。
- (2) 円板  $D$  が平面  $z = t$  と共有点をもつ  $t$  の範囲を求めよ。
- (3) 円板  $D$  と平面  $z = t$  の共通部分が線分であるとき, その線分の長さを  $t$  を用いて表せ。
- (4) 円板  $D$  を  $z$  軸のまわりに回転してできる立体の体積を求めよ。



[4] 3つの数列 $\{a_n\}$ ,  $\{b_n\}$ ,  $\{c_n\}$ が

$$a_{n+1} = -b_n - c_n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

$$b_{n+1} = -c_n - a_n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

$$c_{n+1} = -a_n - b_n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

および $a_1 = a$ ,  $b_1 = b$ ,  $c_1 = c$ を満たすとする。ただし,  $a$ ,  $b$ ,  $c$ は定数とする。

(1)  $p_n = a_n + b_n + c_n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$

で与えられる数列 $\{p_n\}$ の初項から第 $n$ 項までの和 $S_n$ を求めよ。

(2) 数列 $\{a_n\}$ ,  $\{b_n\}$ ,  $\{c_n\}$ の一般項を求めよ。

(3)  $q_n = (-1)^n \{(a_n)^2 + (b_n)^2 + (c_n)^2\} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$

で与えられる数列 $\{q_n\}$ の初項から第 $2n$ 項までの和を $T_n$ とする。 $a + b + c$ が奇数であれば, すべての自然数 $n$ に対して $T_n$ が正の奇数であることを数学的帰納法を用いて示せ。

[5] 2次の正方行列  $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$  について以下の問いに答えよ。ただし,  $a, b, c, d$  は実数とする。

(1)  $A^2 = \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}$  を満たす  $A$  は存在しないことを示せ。

(2)  $A^2 = \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ -1 & 0 \end{pmatrix}$  を満たす  $A$  をすべて求めよ。

(3) (2)で求めた  $A$  のそれぞれについて  $A + A^2 + A^3 + \cdots + A^{2013}$  を求めよ。

[6] 楕円  $C: \frac{x^2}{16} + \frac{y^2}{9} = 1$  の、直線  $y = mx$  と平行な 2 接線を  $l_1, l_1'$  とし、 $l_1, l_1'$  に直交する  $C$  の 2 接線を  $l_2, l_2'$  とする。

(1)  $l_1, l_1'$  の方程式を  $m$  を用いて表せ。

(2)  $l_1$  と  $l_1'$  の距離  $d_1$  および  $l_2$  と  $l_2'$  の距離  $d_2$  をそれぞれ  $m$  を用いて表せ。

ただし、平行な 2 直線  $l, l'$  の距離とは、 $l$  上の 1 点と直線  $l'$  の距離である。

(3)  $(d_1)^2 + (d_2)^2$  は  $m$  によらず一定であることを示せ。

(4)  $l_1, l_1', l_2, l_2'$  で囲まれる長方形の面積  $S$  を  $d_1$  を用いて表せ。

さらに  $m$  が変化するとき、 $S$  の最大値を求めよ。